



2024年3月期 決算補足資料

2024年5月13日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

目次

1. 2024年3月期 実績
2. 中期経営計画(WILL-being2026)修正について
3. 2025年3月期通期業績予想、配当予想

2024年3月期第1四半期連結会計期間より国内WORK事業、海外WORK事業の名称を、国内Working事業（略称：国内W）、海外Working事業（略称：海外W）にそれぞれ変更しています。

2024年3月期 実績

1

2024年3月期 連結実績

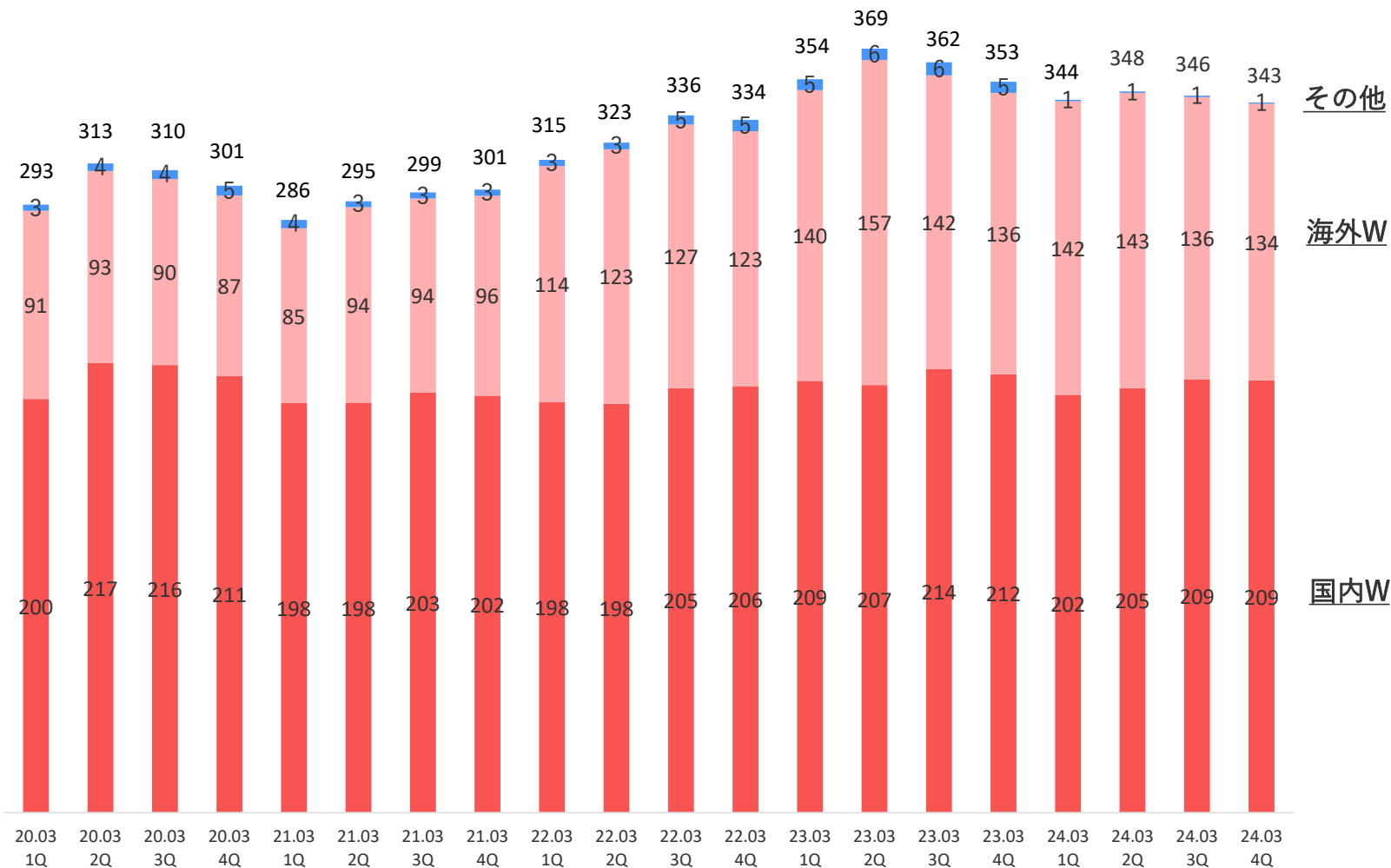
国内W、海外Wとも売上収益は伸び悩むものの、最注力している建設技術者領域は順調。

(億円)	前期	実績	前期比		業績予想 (2024年3月5日 公表値)	業績予想比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上収益	1,439.3	1,382.2	△57.0	△4.0%	1,380.0	+2.2	+0.2%
売上総利益 (売上総利益率)	317.3 (22.1%)	304.4 (22.0%)	△12.9 (△0.1pt)	△4.1%	306.0 (22.2%)	△1.5 (△1.2pt)	△0.5%
営業利益 (営業利益率)	53.1 (3.7%)	45.2 (3.3%)	△7.9 (△0.4pt)	△14.9%	45.5 (3.3%)	△0.2 (±0.0pt)	△0.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	32.3	27.7	△4.5	△14.1%	24.5	+3.2	+13.4%

■KPI	計画	実績	進捗率	前期
採用人数/年（建設技術者領域）	1,270名	1,424名	112.1%	1,022名
定着率（建設技術者領域）	71.0%	71.2%	-	71.3%
正社員派遣稼働増加人数 (国内W（建設技術者領域除く）)	600名 (期末稼働人数 3,052名)	350名 (期末稼働人数 2,802名)	58.3%	2,452名 (前期末稼働人数)
外国人管理受託増加人数 (国内W)	1,100名 (期末管理受託人数 2,850名)	591名 (期末管理受託人数 2,341名)	53.7%	1,750名 (前期末管理受託人数)
人材紹介売上比率（海外W）	16.0%	11.6%	-	13.5%

連結売上収益の四半期推移

(億円)

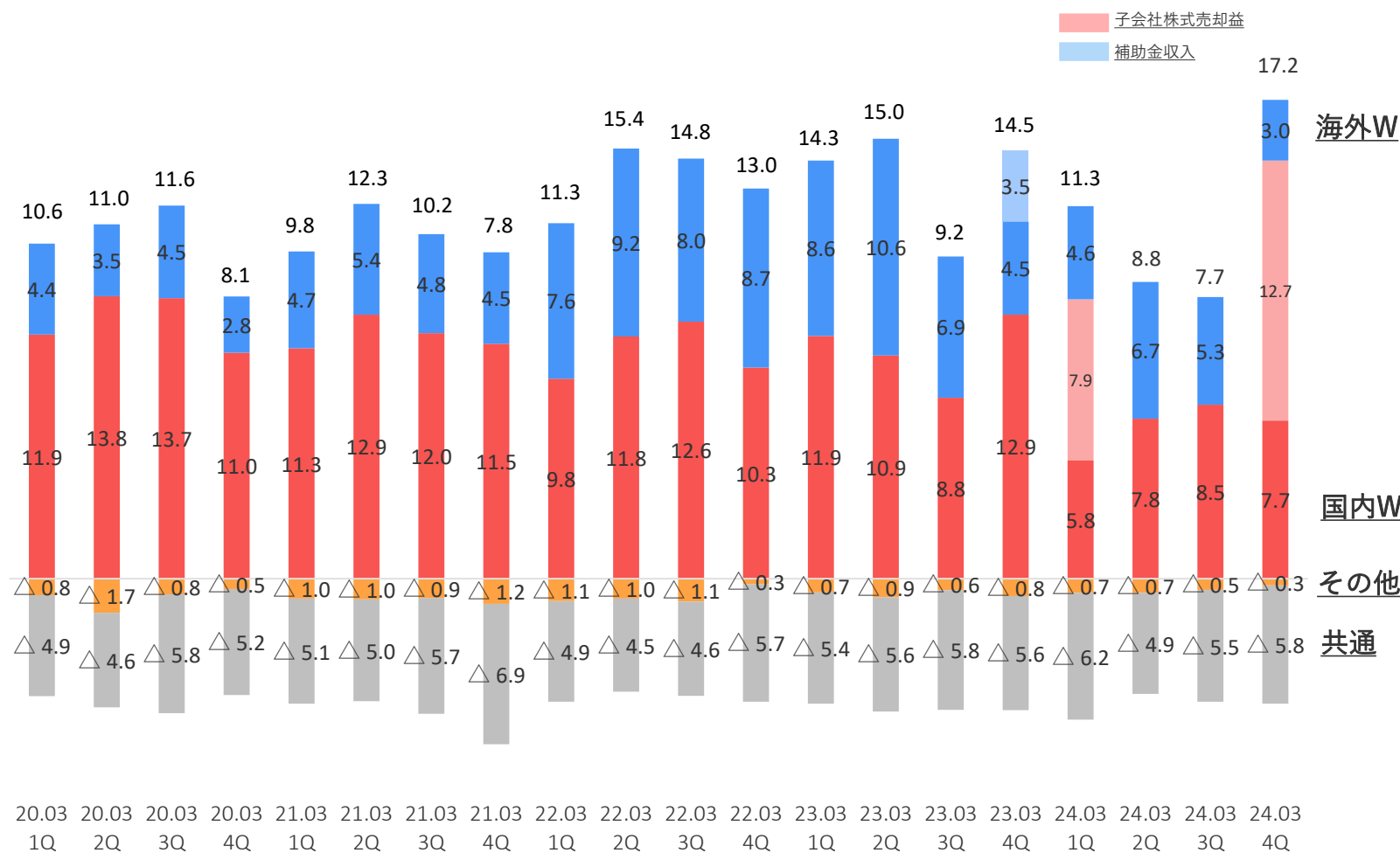


4Qは、
24.3期3Q比：△3億円
(うち為替影響：+1億円)

国内Wは横ばい。
海外Wは派遣、人材紹介
売上とも減少。

連結営業利益の四半期推移

(億円)



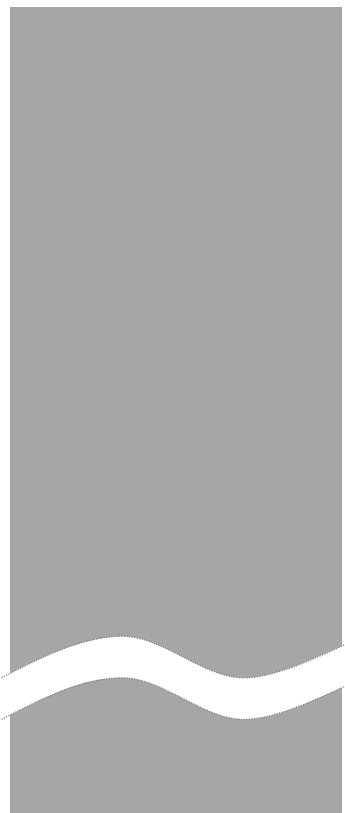
4Qは、
24.3期3Q比：+9億円
(うち為替影響：+0億円)

国内Wは、先行投資
4Q：2.3億円実施（3Q
比+1.1億円）の一方、
子会社売却益12.7億円
計上。
海外Wは、人材紹介売
上の減少により3Q比：
△2.3億円。

2024年3月期 売上収益 前年同期増減内訳

(億円)

1,439.3



2023年
3月期

△16.0

建設技術者領域 (+28.0億円)、ITエンジニア領域 (+4.8億円)、ファクトリーアウトソーシング領域 (+3.5億円) の一方、コールセンターアウトソーシング領域 (△17.4億円)、子会社(外国語指導助手派遣事業) 株式譲渡による連結除外影響 (△34.6億円)。

国内W

△21.0

人材派遣 (△30.6億円)、人材紹介 (△12.7億円)、為替影響 (+22.3億円)。

海外W

△19.9

子会社 (ITコンサル事業) 株式譲渡による連結除外影響 (△19.7億円)。

その他

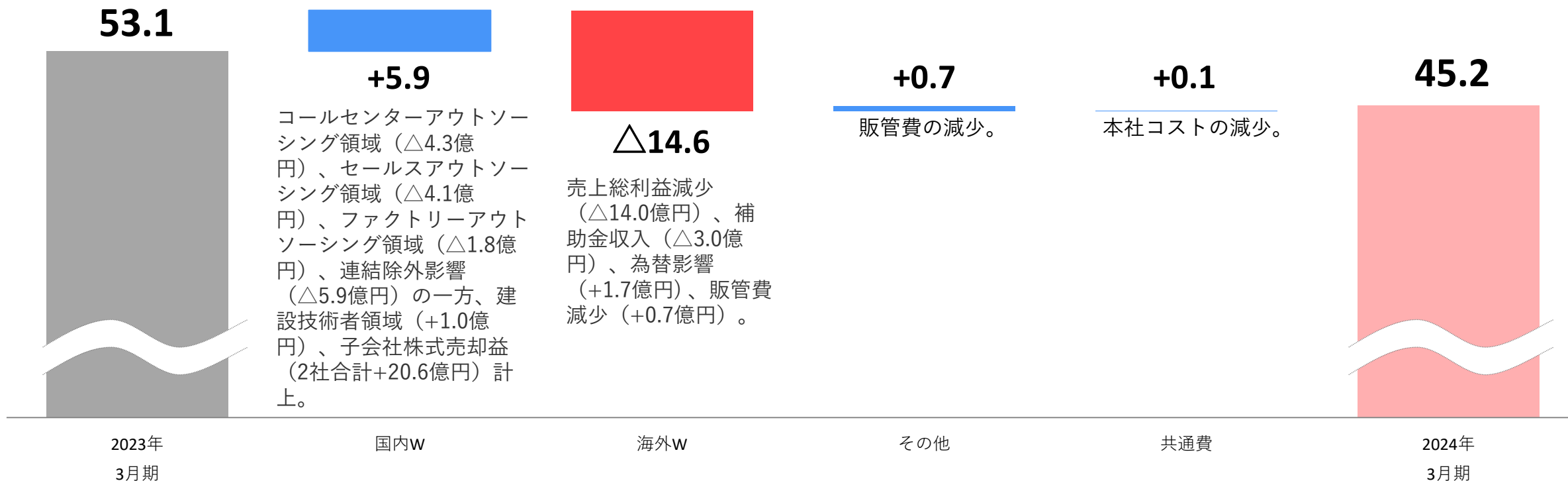
1,382.2



2024年
3月期

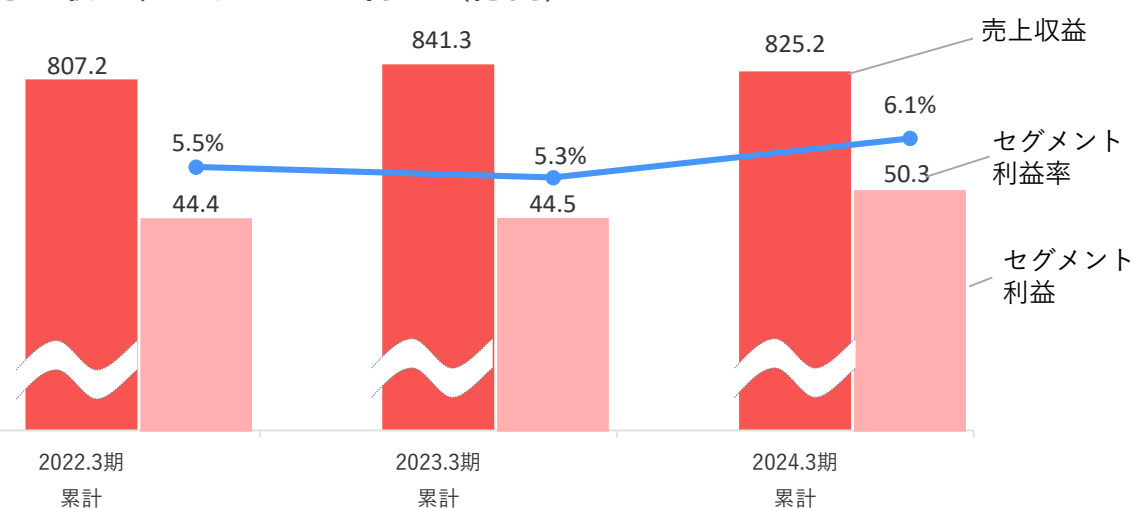
2024年3月期 営業利益 前年同期増減内訳

(億円)



国内Working事業

-売上収益、セグメント利益（億円）-

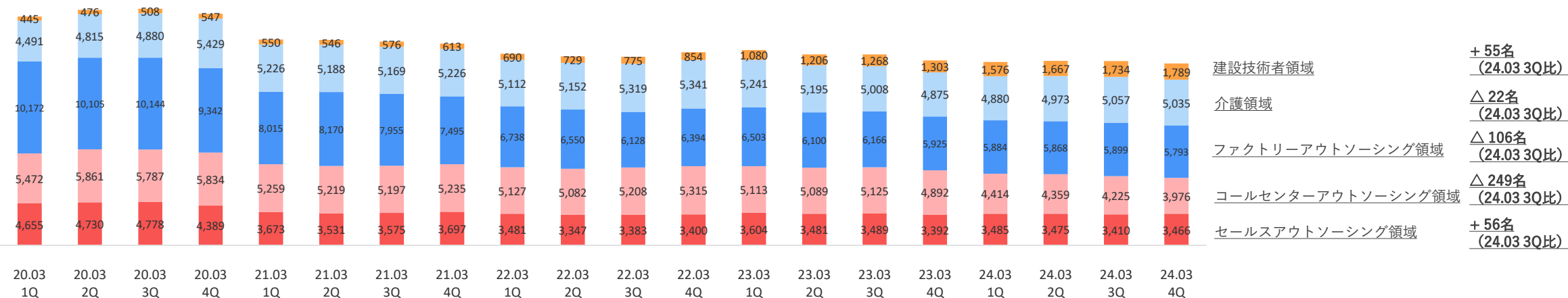


(億円)	前期	実績	前期比
売上収益	841.3	825.2	△1.9%
セグメント利益	44.5	50.3	+13.2%

-トピックス-

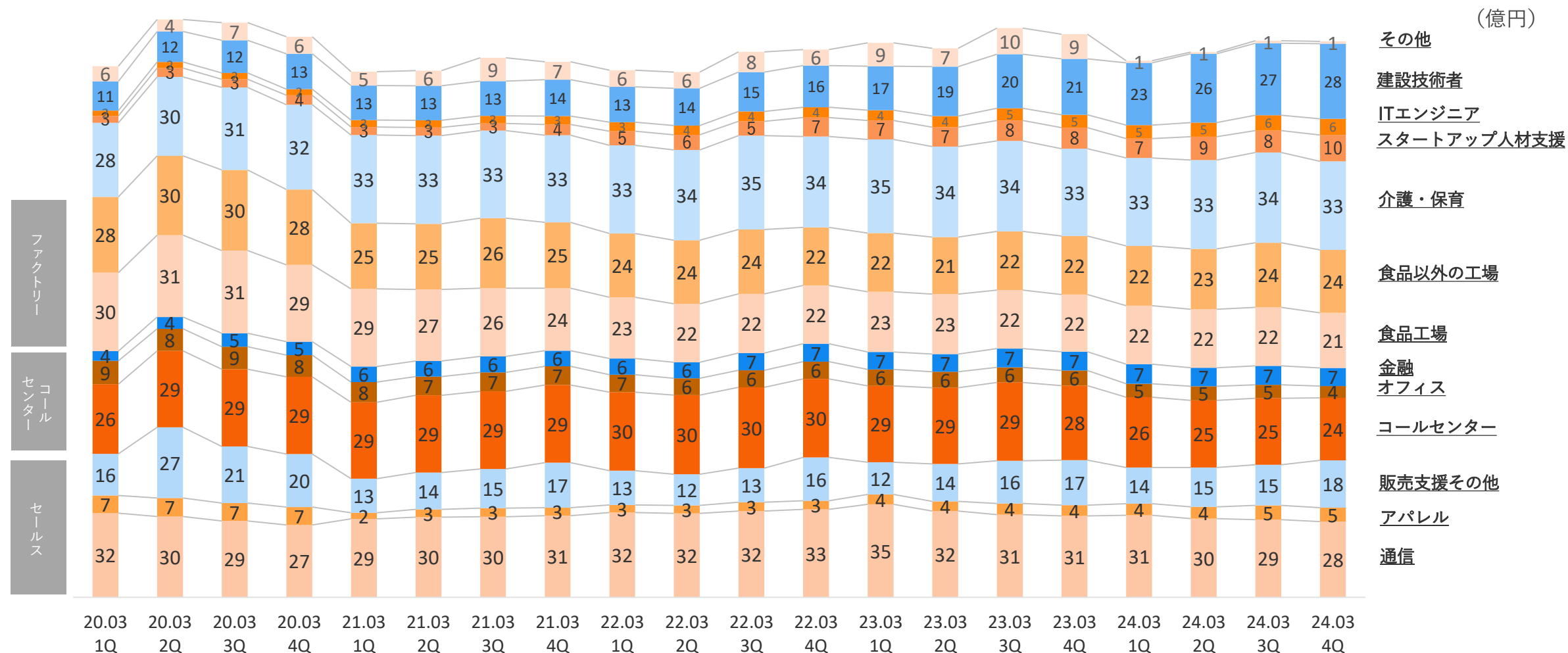
- 稼働人数は、3Qと比較して約260名減少。
- 先行投資8億円（1Q：1.6億円、2Q：3.0億円、3Q：1.2億円、4Q：2.3億円）を実施。

-稼働人数（人）-



国内Working事業（分野別売上の内訳）

建設技術者領域は堅調に推移。



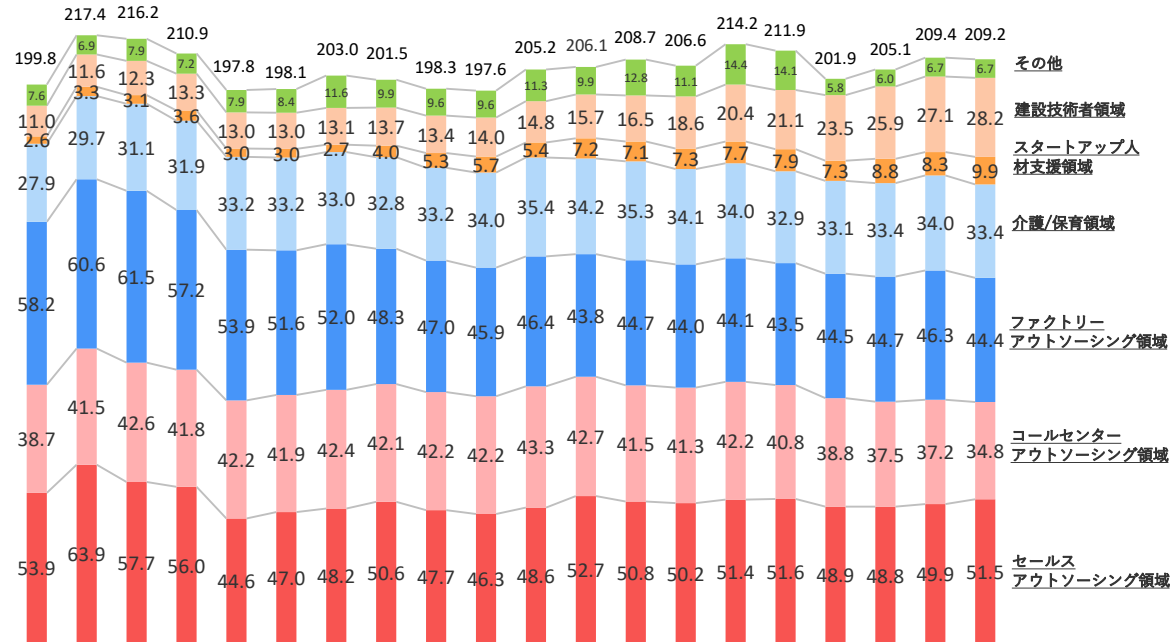
国内Working事業（領域別売上、営業利益）

売上収益の横ばい傾向が続くため、先行投資も取捨選択し販管費を抑制。

先行投資額8億円(1Q：1.6億円、2Q：3.0億円、3Q：1.2億円、4Q：2.3億円)の内訳

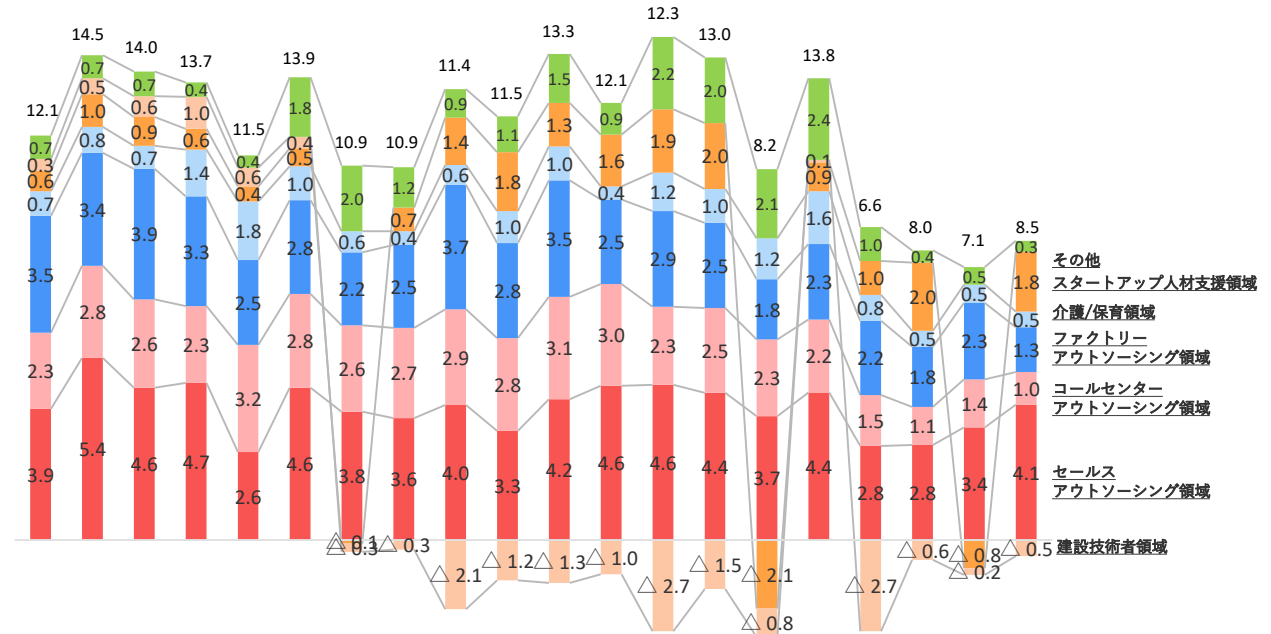
セールスアウトソーシング領域(1Q：0.2億円、2Q：0.0億円、3Q：0.0億円、4Q：0.0億円)、ファクトリーアウトソーシング領域(1Q：0.3億円、2Q：0.4億円、3Q：0.4億円、4Q：0.2億円)、介護領域(1Q：0.1億円、2Q：0.2億円、3Q：0.0億円、4Q：0.0億円)、建設技術者領域(1Q：1.0億円、2Q：1.1億円、3Q：0.8億円、4Q：1.3億円)、プロモーション費用(1Q：0.0億円、2Q：1.3億円、3Q：0.0億円、4Q：0.7億円)

-領域別売上（億円）-



20.03 20.03 20.03 20.03 21.03 21.03 21.03 21.03 22.03 22.03 22.03 22.03 23.03 23.03 23.03 23.03 24.03 24.03 24.03 24.03
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

-領域別営業利益（億円）-



20.03 20.03 20.03 20.03 21.03 21.03 21.03 21.03 22.03 22.03 22.03 22.03 23.03 23.03 23.03 23.03 24.03 24.03 24.03 24.03
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

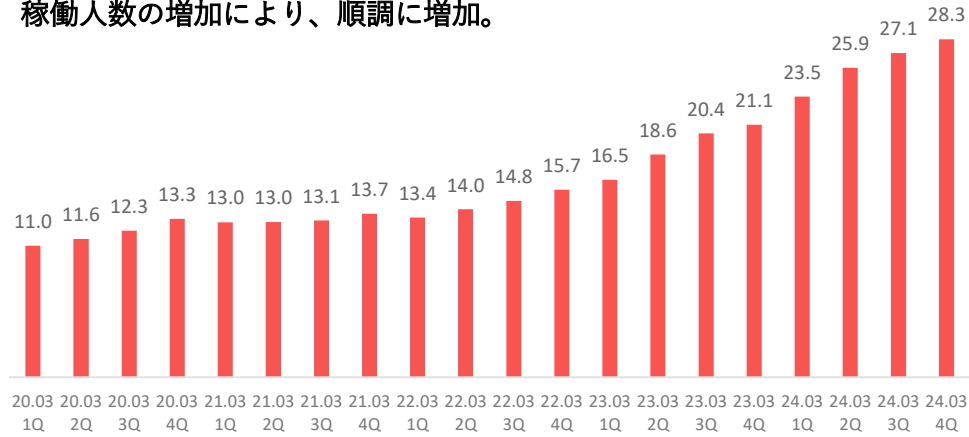
※セグメント内の連結調整は含んでいません。

建設技術者領域の進捗

■四半期別売上高の推移

単位：億円

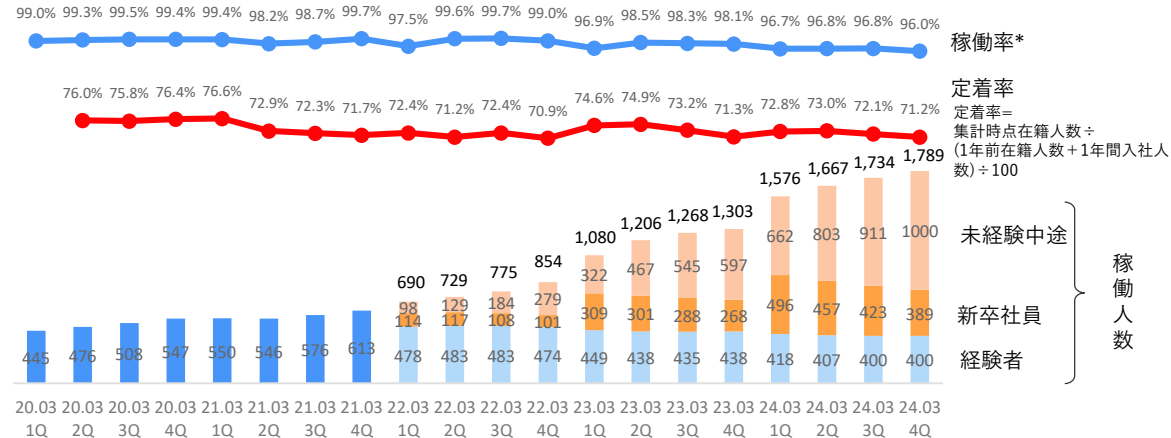
稼働人数の増加により、順調に増加。



■稼働人数、稼働率、定着率

単位：人

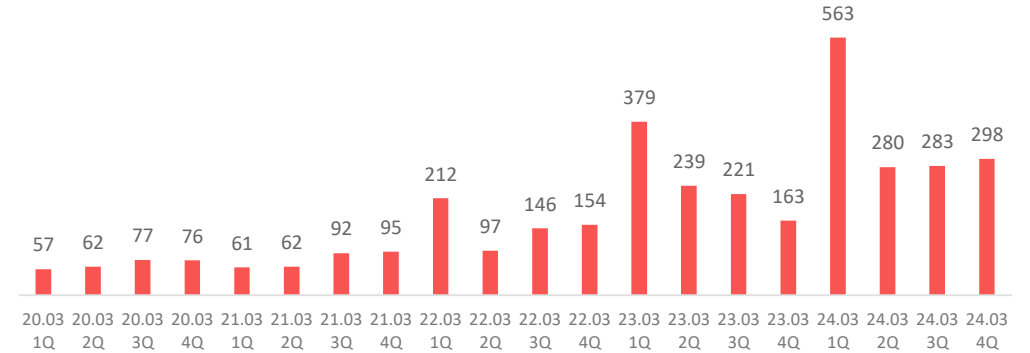
稼働率は高水準で推移。引き続き定着率向上に取り組む。



■採用人数

単位：人

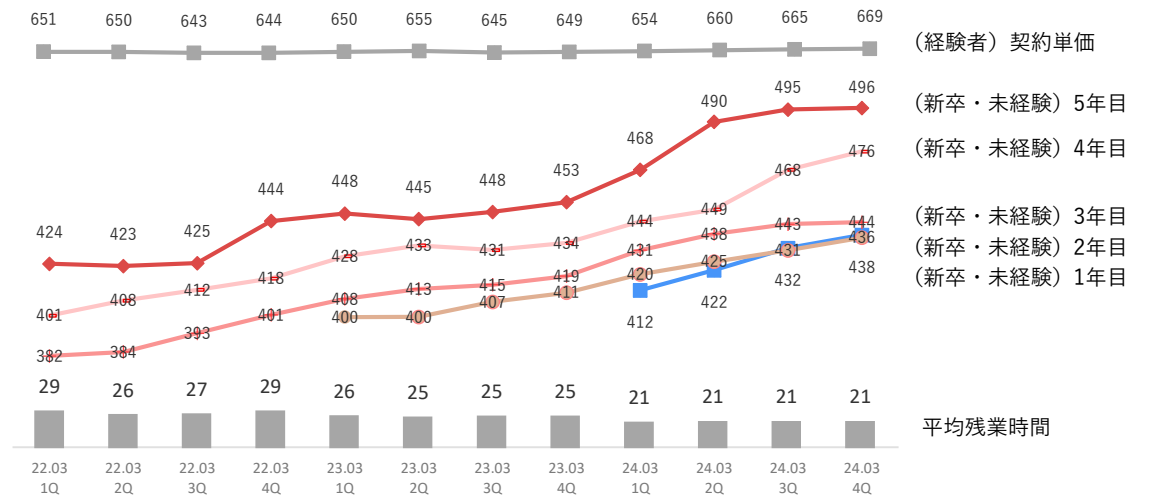
当期累計で1,424名を採用し、通期目標1,270名を達成。(計画比：112.1%)
 *1Qは、新卒採用(前期：236名、当期:260名)を含む。



■平均契約単価、平均残業時間(月間)

単位：時間、千円

新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により5%/年上昇。
 また、新規決定時の交渉に注力したことで、1年目の平均単価が上昇。

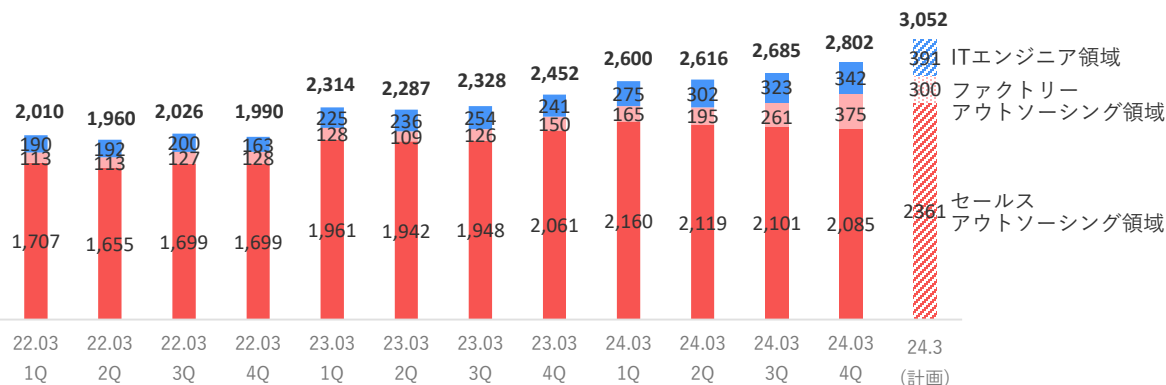


正社員派遣、外国人管理受託の進捗

■正社員派遣稼働人数

単位：人

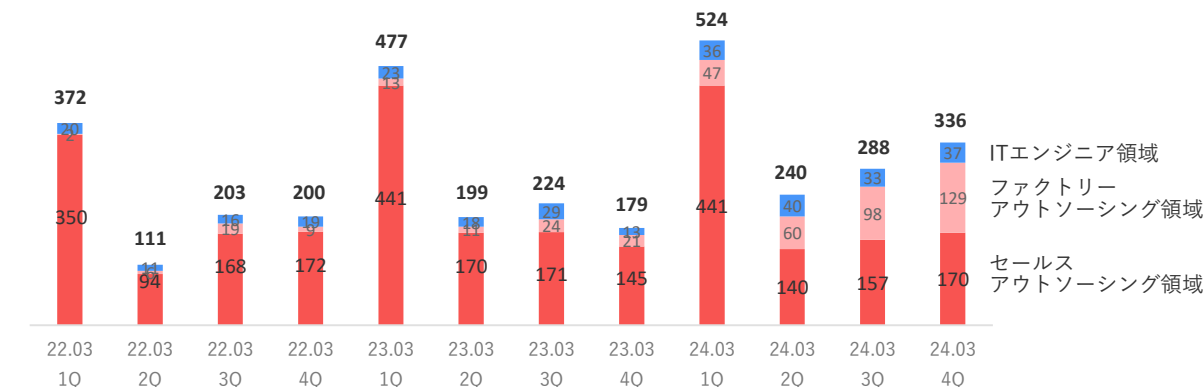
セールスアウトソーシング領域の中途採用が伸び悩んだことで、計画未達。



■正社員派遣採用人数

単位：人

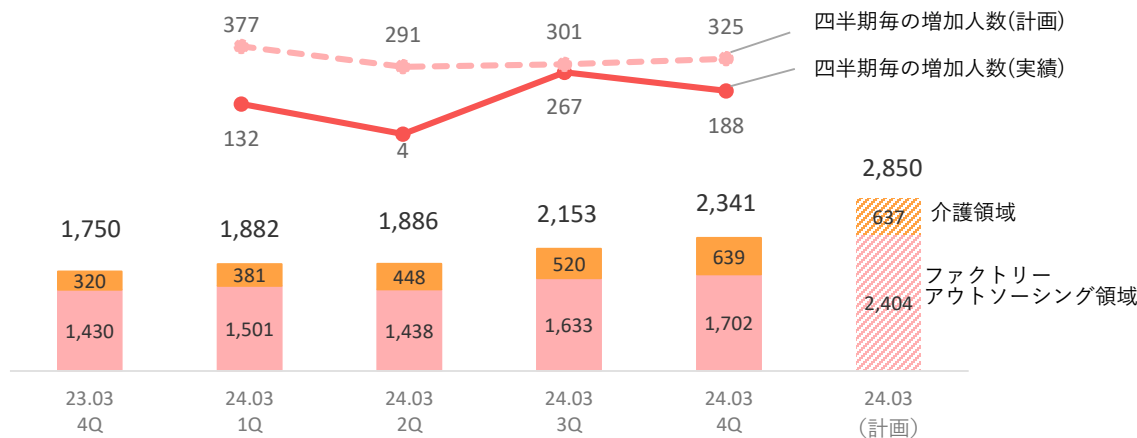
ファクトリーアウトソーシング、ITエンジニア領域の採用は順調。
*1Qは、セールスアウトソーシング領域の新卒採用280名を含む。



■外国人管理受託人数

単位：人

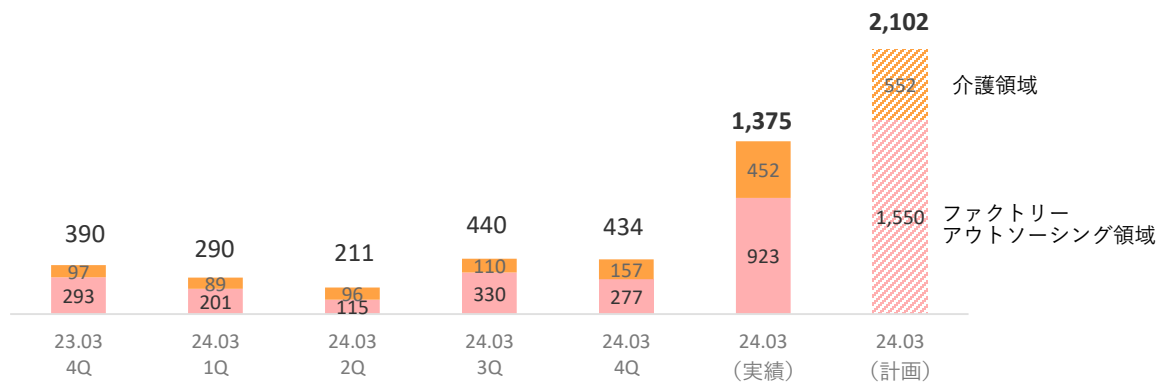
介護領域は順調に進捗。ファクトリー領域は上期の遅れにより計画未達ではあるものの、徐々に回復傾向。



■新規外国人管理受託人数

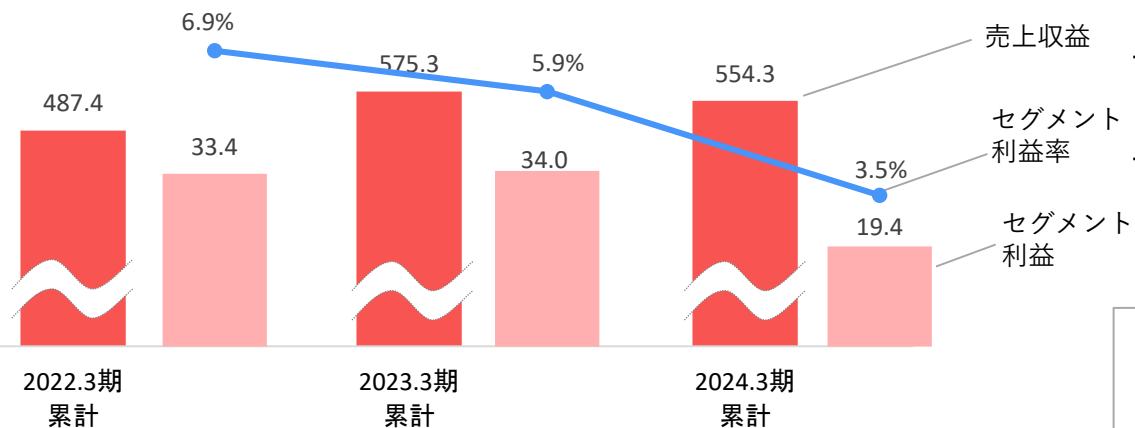
単位：人

企業からの受注数は順調に進捗しているものの、積み上げが出来ず。成約率が高い海外人材の受注や、集客がしやすい勤務地や給与条件など、質の高い受注獲得に取り組む。



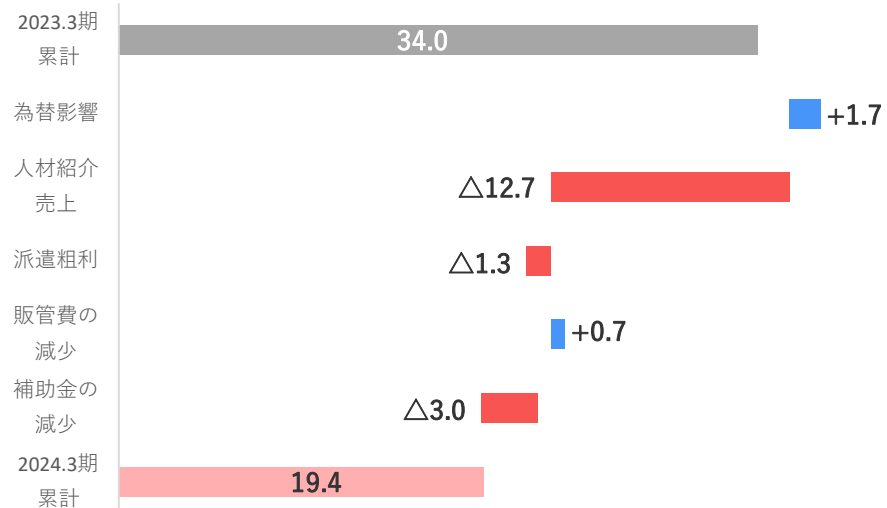
海外Working事業

-売上収益、セグメント利益（億円）-



(億円)	前期	実績	前期比
売上収益	575.3	554.3	△3.7%
セグメント利益	34.0	19.4	△42.9%

-セグメント利益増減要因（億円）-



-トピックス-

- 前期のポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡したこと、主要顧客の採用抑制等により、人材紹介売上が減少。
- オーストラリアドル、シンガポールドルとも円安に推移。為替影響は、(前期比) 売上収益：+22.3億円、営業利益：+1.7億円

□為替感応度

	計画レート	4Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	86円	95円	93円	4.0億円	0.1億円
シンガポールドル	94円	107円	98円	1.0億円	0.0億円

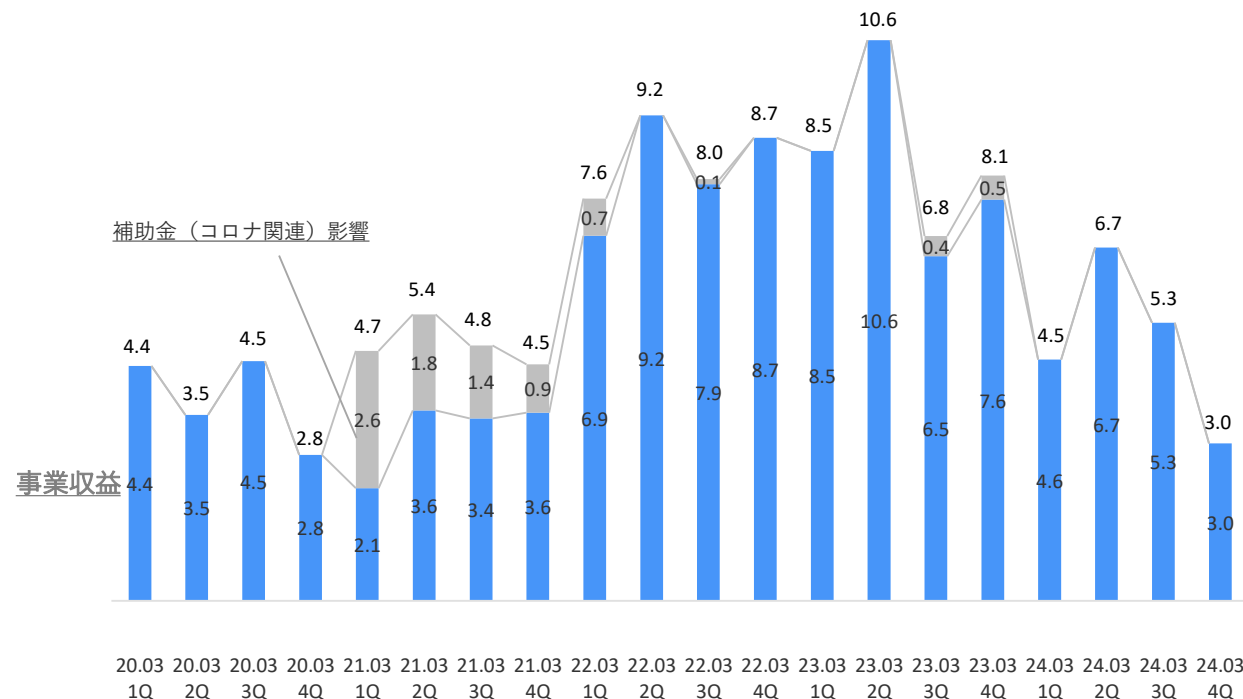
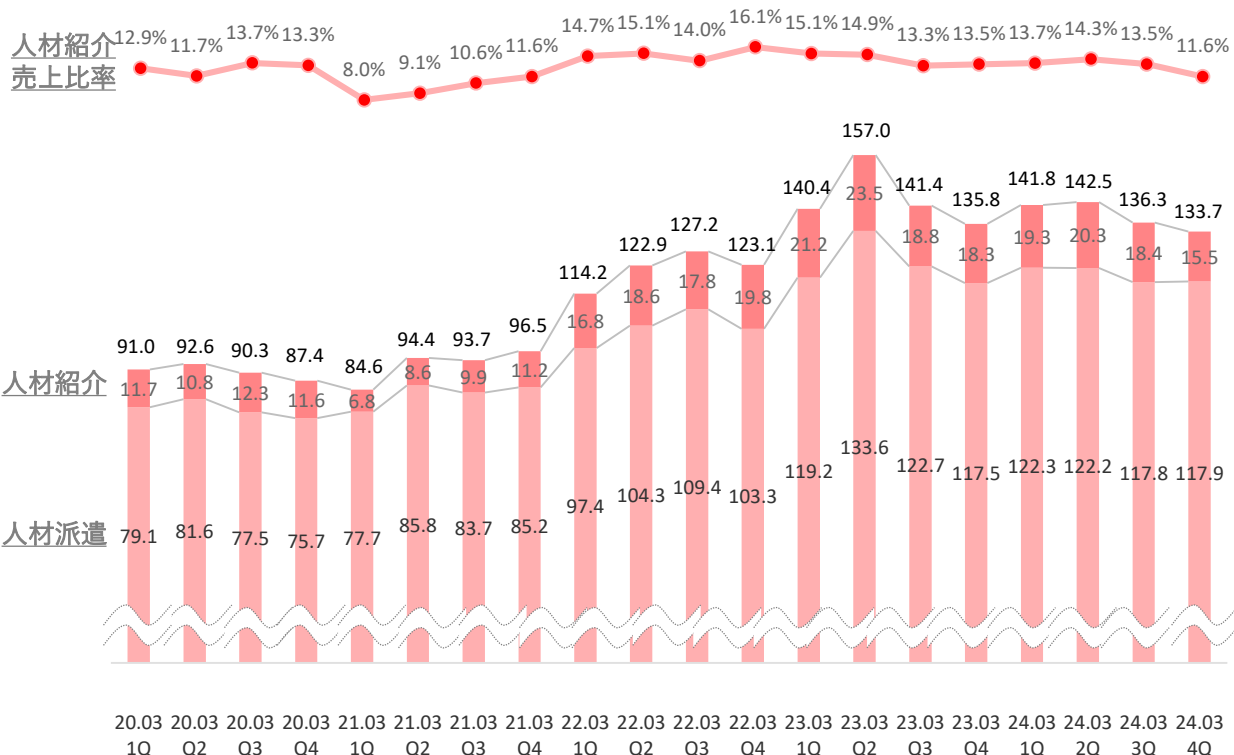
海外Working事業（契約形態別売上、営業利益推移）

マクロ経済悪化による停滞が継続。

3Q比では、紹介市場の低迷に伴う一部顧客の採用抑制等により、紹介売上は減少したが、人材派遣売上は横ばいで推移。

-契約形態別売上（億円）-

-営業利益（億円）-

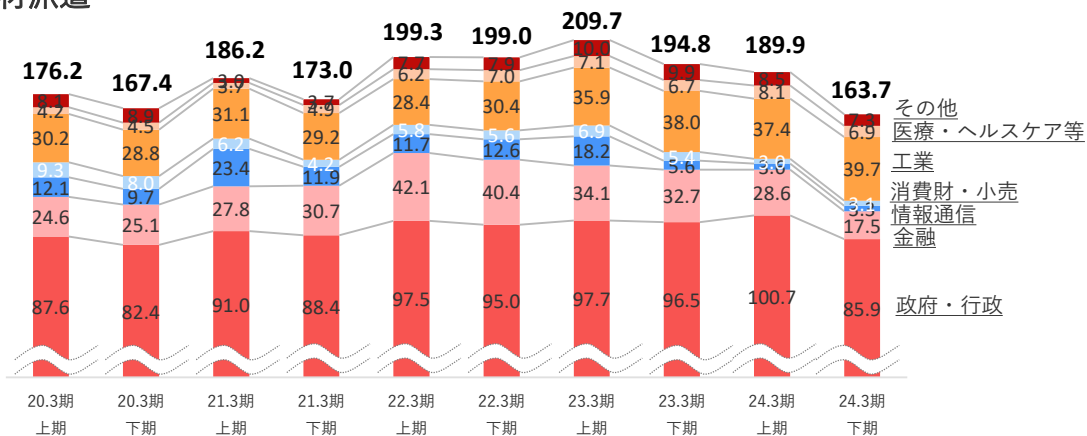


海外Working事業（分野別売上の内訳（半期））

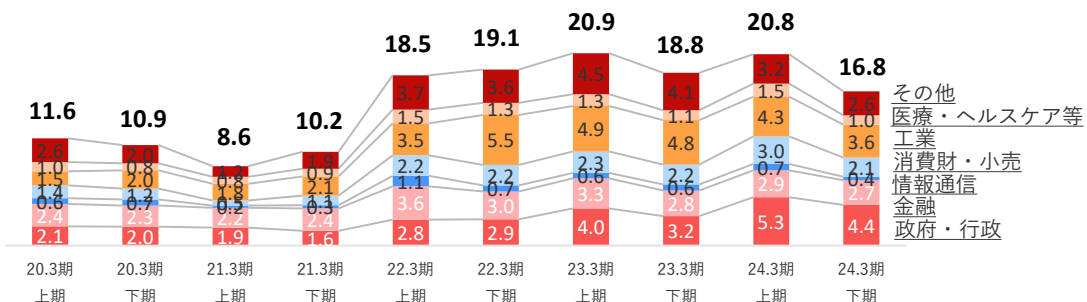
人材派遣は、オーストラリアの金融業界を中心に減少したものの、シンガポールの政府・行政は堅調に推移。

■オーストラリア

・人材派遣

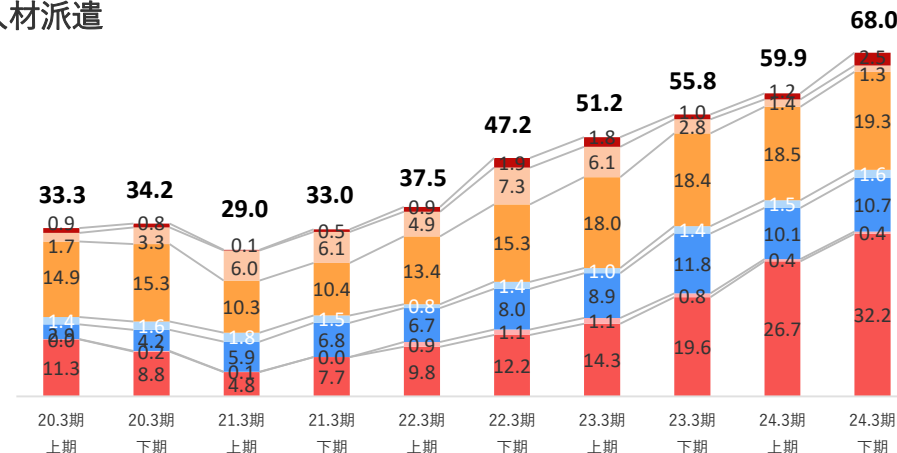


・人材紹介

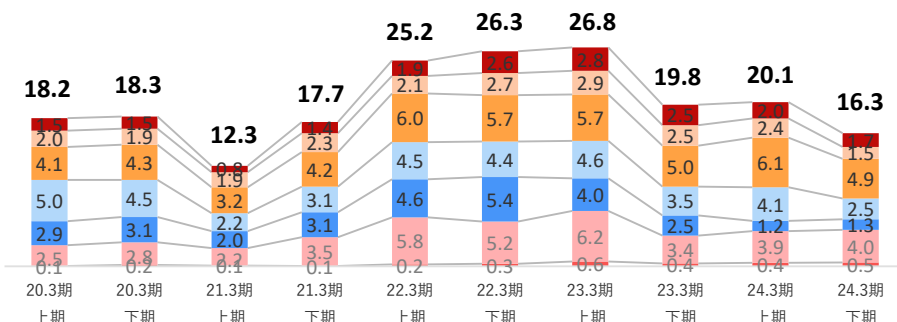


■シンガポール

・人材派遣



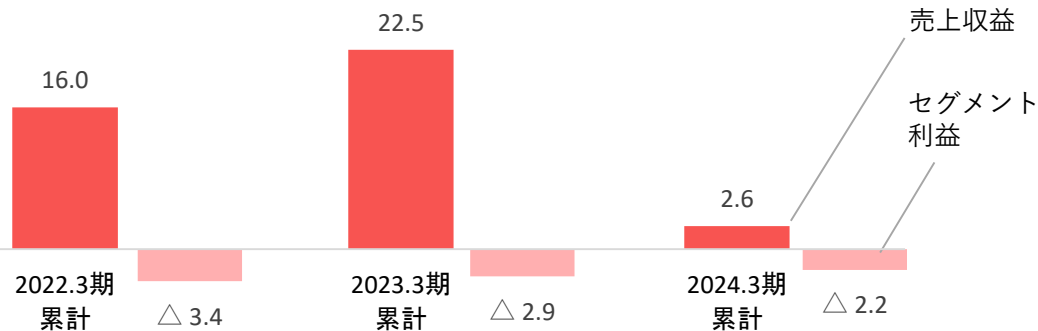
・人材紹介



1シンガポールドル=98円、1オーストラリアドル=93円で換算しています。

その他

-売上収益、セグメント利益（億円）-



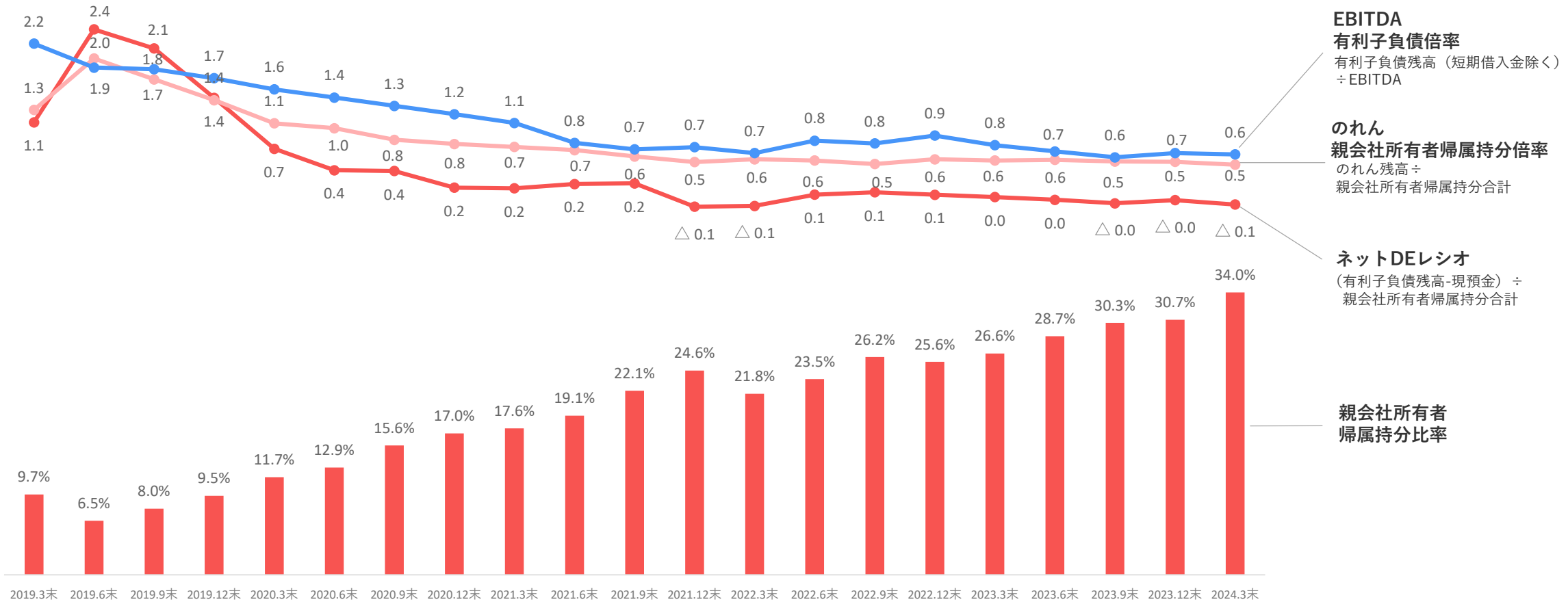
(億円)	前期	実績	前期比
売上収益	22.5	2.6	△88.2%
セグメント利益	△2.9	△2.2	-

-トピックス-

- 2023年6月に子会社（ITコンサル）株式を譲渡（売却益は計上なし）。
- 2024年3月に外国人雇用管理サポートサービス事業を吸収分割の方法により他社に承継。
- 継続的に新たなプラットフォーム開発に向け取り組む。

親会社所有者帰属持分比率は、4Qで34.0%。各財務指標も改善傾向。

(倍)



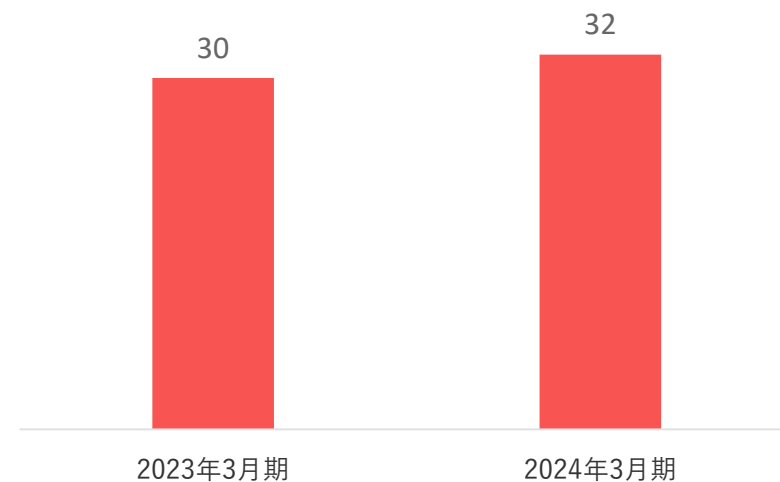
連結貸借対照表

(億円)	2023年 3月末	2024年 3月末	増減	主な増減要因
流動資産	286.6	261.2	△25.3	
うち現金及び現金同等物	95.9	71.0	△24.8	主に配当金の支払い（△10億円）、グループのキャッシュマネジメント向上等による借入金返済等
うち営業債権及びその他の債権	179.2	175.1	△4.1	
非流動資産	262.7	254.1	△8.5	
うちのれん	81.2	87.3	+6.1	
うちその他の無形資産	59.9	61.0	+1.1	
資産合計	549.3	515.4	△33.9	
流動負債	284.1	245.3	△38.8	
うち営業債務及びその他の債務	161.5	164.8	+3.3	
うち借入金	67.6	24.9	△42.7	グループのキャッシュマネジメント向上等により短期借入金純増減額（△32億円）、長期借入金純増減額（△9億円）
うちその他の金融負債	13.6	21.1	+7.5	
非流動負債	106.4	94.9	△11.5	
うち借入金	33.8	34.4	+0.5	
うちその他の金融負債	59.5	48.3	△11.1	リース負債の減少（△11億円）
負債合計	390.6	340.2	△50.3	
資本合計	158.7	175.1	+16.4	
うち親会社の所有者に帰属する持分合計	146.3	175.0	+28.6	親会社所有者に帰属する当期利益の計上（+28億円）
負債及び資本合計	549.3	515.4	△33.9	
親会社所有者帰属持分比率	26.6%	34.0%	+7.4pt	

連結キャッシュ・フロー

(億円)	2023年3月期	2024年3月期
税引前利益	51	44
減価償却費及び償却費	21	22
法人所得税の支払額	△24	△15
その他の営業活動	0	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	48	38
有形固定資産等の取得及び売却	△3	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得及び売却	△7	8
その他の投資活動	△6	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17	△5
有利子負債の純増減	12	△55
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得及び売却	△37	—
支払配当金	△7	△10
政府補助金による収入	5	1
その他の財務活動	0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27	△62
為替変動の影響額	3	4
現金及び現金同等物の増減額	6	△24
現金及び現金同等物期末残高	95	71
フリーキャッシュ・フロー（営業C/F+投資C/F）	30	32

フリーキャッシュ・フロー推移 (億円)



中期経営計画(WILL-being2026)の 経営目標の修正について

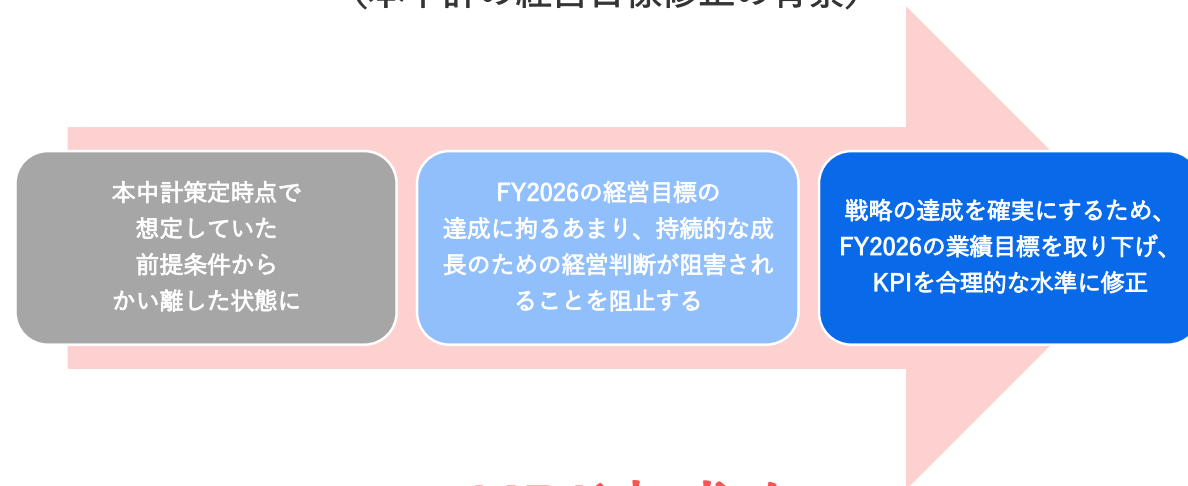
2

中期経営計画（WILL-being 2026） 初年度の状況と経営目標修正の背景

（本中計 初年度の状況）

戦略	国内W	戦略Ⅰ	<p><u>建設技術者領域の更なる成長、収益化を実現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 新卒を含む未経験採用が順調、FY2025の黒字化は確実
		戦略Ⅱ	<p><u>国内W（建設技術者領域以外）の再成長</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 正社員派遣人数の積み上げに苦戦 外国人管理受託は計画に遅れも徐々に回復傾向
	海外W	戦略Ⅲ	<p><u>海外Wの安定した成長</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 人材派遣、人材紹介ともに、市況の低迷が長期化
	国内W		<p>（計画外のアクション）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業ポートフォリオの見直しのため、上場子会社株式を売却 次期以降、当該子会社の利益がはく落

（本中計の経営目標修正の背景）



**KPI達成を
より優先して追求する
マネジメントにシフト**

**そして、FY2026以降の飛躍
フェーズの実現を確かなものに**

中期経営計画（WILL-being 2026）の経営目標の修正



基本方針

国内Wの再成長（修正なし）

		2023年3月期実績	2024年3月期実績	2026年3月期目標 (修正前)	2026年3月期目標 (修正後)
目標	売上収益 *新規M&Aは含めず ※1	1,439億円	1,382億円	1,700億円	—
	営業利益 (営業利益率) ※1	53.1億円 (3.7%)	45.2億円 (3.3%)	65.0億円 (3.8%)	—
KPI	採用人数/年 (建設技術者領域)	1,022名	1,424名	2,000名	1,500名
	定着率 (建設技術者領域)	71.3%	71.2%	73.0%	71.5%
	正社員派遣稼働人数 (国内W (建設技術者領域除く)) ※2	2,791名	3,254名	4,700名	3,500名
	外国人雇用支援人数 (国内W (建設技術者領域除く))	1,750名	2,341名	6,800名	3,500名
	人材紹介売上比率 (海外W) ※1	13.5%	11.6%	17.0%	—

※1 修正後の目標のうち「—」としている項目については、四半期ごとの実績を開示します。

※2 正社員派遣稼働人数（国内W（建設技術者領域を除く））には、セールスアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域、ITエンジニア領域に加え、コールセンターアウトソーシング領域、介護領域を含めて表示しています。

2025年3月期業績予想、配当予想

3

2025年3月期通期連結業績予想

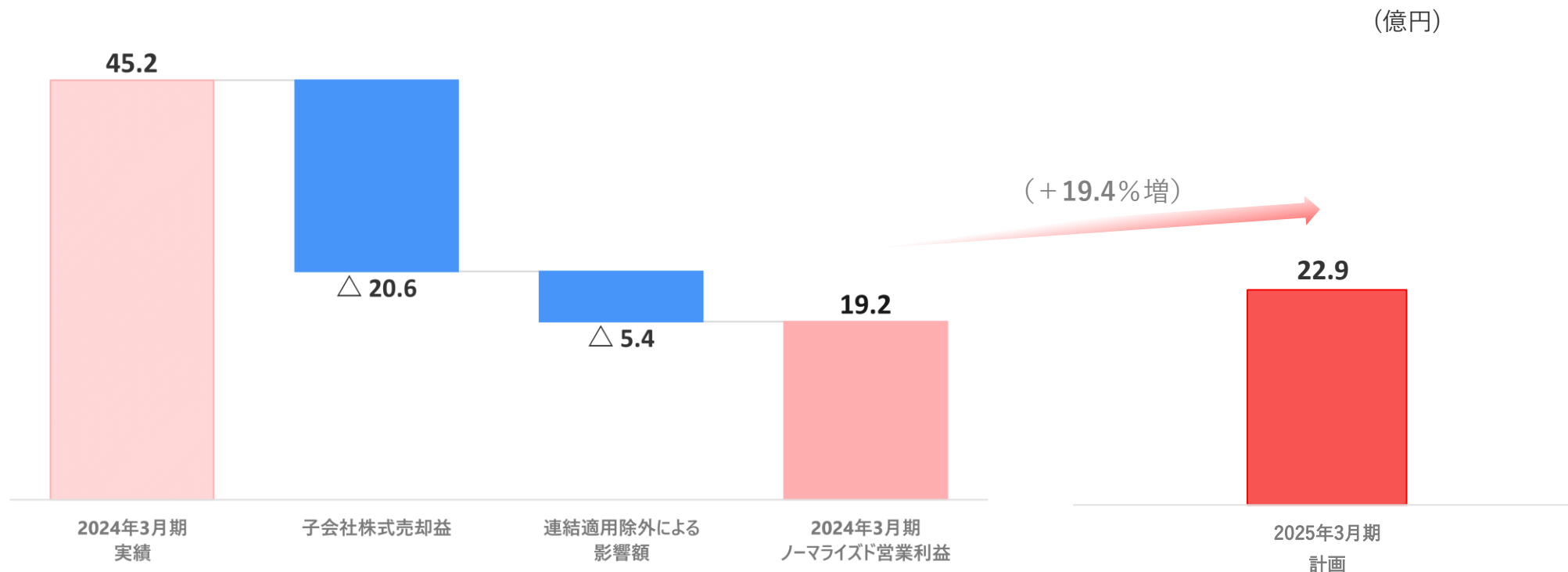
(億円)	2024.3月期	2025.3月期 (業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	1,382.2	1,404.0	+21.7	+1.6%
うち国内Working事業	825.2	845.0	+19.7	+2.4%
うち海外Working事業	554.3	556.3	+2.0	+0.4%
うちその他	2.6	2.6	△0.0	△2.0%
売上総利益	304.4	304.7	+0.3	+0.1%
(売上総利益率)	22.0%	21.7%	△0.3pt	-
営業利益	45.2	22.9	△22.3	△49.4%
(営業利益率)	3.3%	1.6%	△1.7pt	-
うち国内Working事業	50.3	28.0	△22.3	△44.3%
うち海外Working事業	19.4	21.5	+2.0	+10.7%
うちその他	△2.2	△2.6	△0.4	-
うち調整額	△22.3	△24.0	△1.6	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	27.7	16.4	△11.3	△41.0%
EBITDA	68.1	42.3	△25.7	△37.9%
為替レート			1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	86円	91円	4.0億円	0.1億円
シンガポールドル	94円	104円	1.0億円	0.0億円

2025年3月期第2四半期累計期間連結業績予想

(億円)	2024.3月期 第2四半期累計	2025.3月期 第2四半期累計(業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	692.7	656.2	△36.5	△5.3%
うち国内Working事業	407.0	414.1	+7.1	+1.8%
うち海外Working事業	284.4	240.8	△43.5	△15.3%
うちその他	1.3	1.1	△0.1	△11.1%
売上総利益	154.0	137.4	△16.6	△10.8%
(売上総利益率)	22.2%	20.9%	△1.3pt	-
営業利益	20.1	2.8	△17.3	△85.9%
(営業利益率)	2.9%	0.4%	△2.5pt	-
うち国内Working事業	21.4	6.9	△14.5	△67.9%
うち海外Working事業	11.2	9.3	△1.9	△17.1%
うちその他	△1.3	△1.3	△0.0	-
うち調整額	△11.1	△11.9	△0.8	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	14.0	2.5	△11.4	△81.8%
EBITDA	30.6	12.3	△18.3	△59.8%
為替レート			1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	96円	91円	4.0億円	0.1億円
シンガポールドル	105円	104円	1.0億円	0.0億円

2025年3月期連結業績予想（ノーマライズド営業利益比較）

2024年3月期実績に含まれる一過性の利益等を除外したノーマライズド営業利益と比較して、
+19.4%の増益を予想。



(内訳)

国内Working事業	50.3億円
海外Working事業	19.4億円
その他	△ 2.2億円
共通	△ 22.3億円

24.3億円
19.4億円
△ 2.2億円
△ 22.3億円

28.0億円 (+15.2%増)
21.5億円 (+10.8%増)
△ 2.6億円
△ 24.0億円

(参考) 2025年3月期連結業績予想 (国内W領域別)

建設技術者領域は次期から黒字転換。

(億円)

領域		2024.3月期 (実績)	2025.3月期 (業績予想)	増減	増減率
セールス アウトソーシング領域	売上	199.0	199.4	+0.4	+0.2%
	営業利益	13.0	13.0	△0.0	△0.7%
コールセンター アウトソーシング領域	売上	148.4	144.6	△3.7	△2.5%
	営業利益	5.0	4.5	△0.5	△11.4%
ファクトリー アウトソーシング領域	売上	179.8	184.7	+4.8	+2.7%
	営業利益	7.6	5.9	△1.7	△22.9%
介護ビジネス支援領域	売上	133.8	141.5	+7.6	+5.7%
	営業利益	2.2	2.6	+0.3	+16.2%
建設技術者領域	売上	104.6	136.8	+32.1	+30.7%
	営業利益	△4.0	1.2	+5.2	-

2025年3月期の配当予想は、株主還元方針に基づき、前期実績（1株当たり44円）を据え置く。結果として総還元性向は61.7%の見通し。

前中計(21.3期-23.3期)の株主還元方針

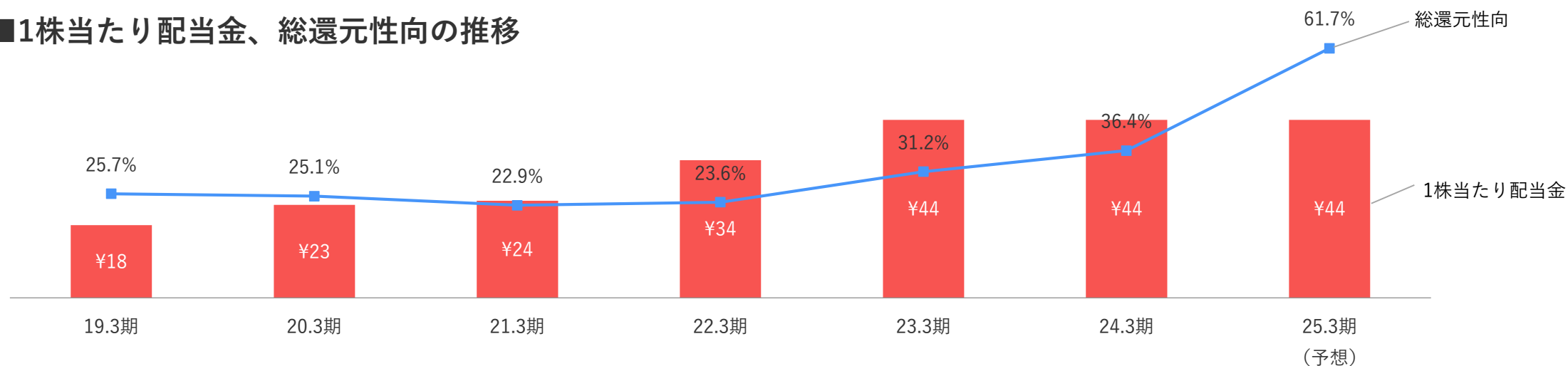
- ・ 総還元性向30%を目安
(対期首業績予想)



中計(24.3期-26.3期)の株主還元方針

- ・ **累進配当**
減配を原則実施せず、増配または維持
- ・ **総還元性向30%以上**
期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討

■1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶



Appendix

海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



当社のビジネス環境

豪州、シンガポールとも求人件数は、2022年前半をピークに減少しており、業種別では、ITや金融等が減少しています。

安定した領域で展開している人材派遣は、堅調に推移している一方で、人材紹介は、ポストコロナの急激な人材紹介需要が前年度3Qで一巡しました。

人材紹介オーダー数の大幅な回復の見通しは立っておらず、進捗を見ながら人件費等の販管費をマネージしていきます。

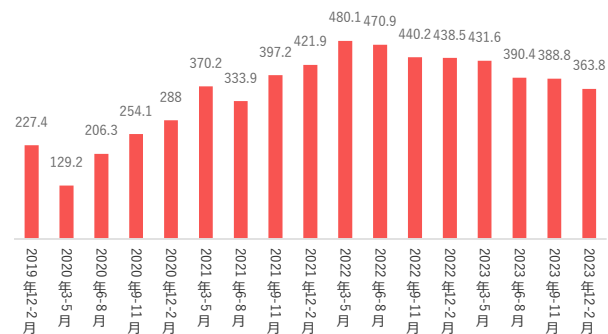


関連経済指標

■ 求人件数

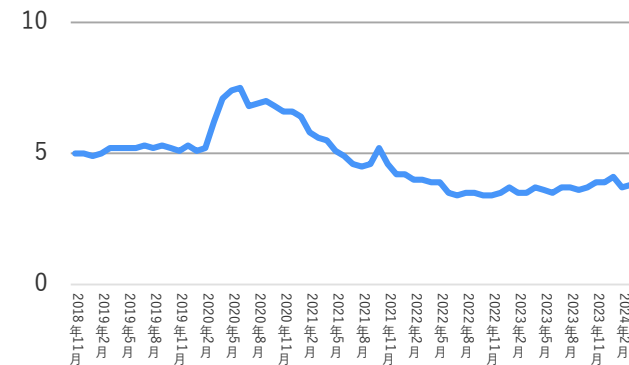
*出典：豪州統計局

単位：千件



■ 完全失業率

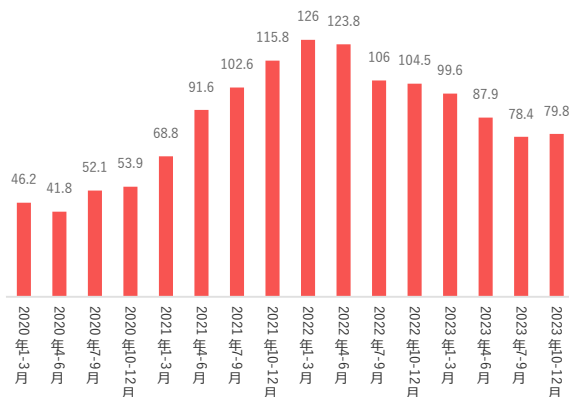
*出典：豪州統計局



■ 求人件数

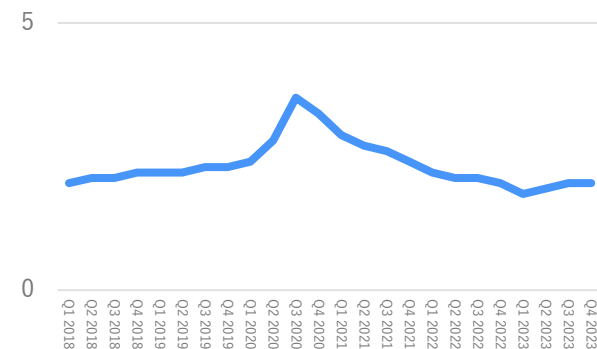
*出典：シンガポール人材開発省

単位：千件



■ 完全失業率

*出典：シンガポール統計局



減損リスクについて

ウィルオブ・コンストラクションは、将来の拡大に向けて先行投資期間。
海外は、ポストコロナの人材紹介需要が一巡。

					(億円)					
	主要拠点	事業内容	連結開始 (持分割合)	投資残高 *1	*2	2020.3期 累計	2021.3期 累計	2022.3期 累計	2023.3期 累計	2024.3期 累計
	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ。	2018/6 (100%)	25.0	売上	48.0	52.7	57.8	76.6	104.6
					利益*3	2.4	0.3	△5.5	△4.9	△4.0
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開。	2019/1 (100%)	28.5	売上	20.6	16.2	26.8	22.9	17.5
					利益	6.3	4.5	10.2	6.5	2.0
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開。	2019/4 (100%)	43.5	売上	83.0	81.3	114.9	122.2	134.8
					利益	7.6	7.9	15.7	11.8	9.7
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開。	2018/1 (100%)	15.9	売上	153.4	163.3	163.1	174.2	153.0
					利益	7.0	6.9	6.5	6.3	8.7

4 社合計投資残高 : 113億円
連結投資残高 : 132億円

*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

*2 連結開示時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-3月の実績を記しています。

また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=107円、1オーストラリアドル=95円で換算しています。

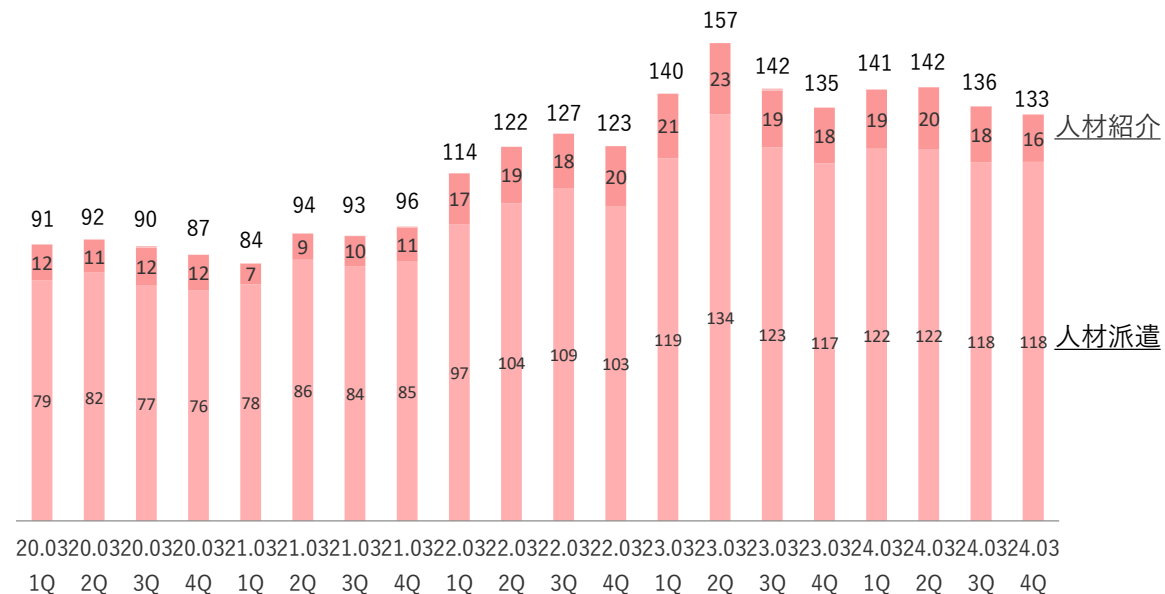
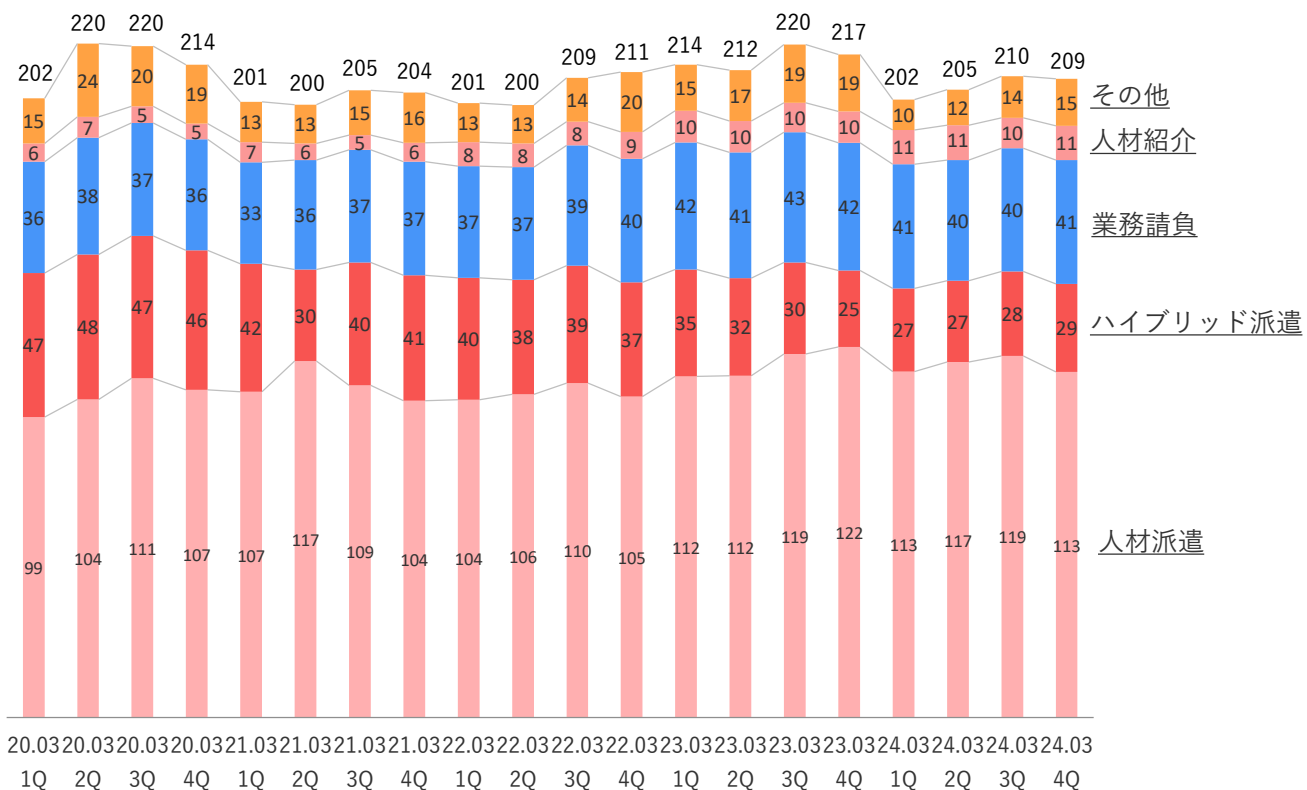
*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。

地域別 契約形態別 売上収益

国内

海外

(億円)



連結B/S

(億円)	日本基準	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS	IFRS	IFRS	IFRS	IFRS
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
連結貸借対照表									
総資産	173.0	280.9	342.1	433.9	446.0	467.6	523.5	549.3	515.4
流動資産	143.6	223.4	231.6	225.3	220.4	235.7	272.8	286.6	261.2
非流動資産	29.3	57.4	110.5	208.6	225.5	231.9	250.6	262.7	254.1
うちのれん	14.1	17.4	47.3	53.2	56.5	61.5	65.1	81.2	87.3
負債	122.8	182.3	262.4	381.7	374.7	367.3	392.2	390.6	340.2
流動負債	99.5	155.4	180.2	210.8	215.6	247.9	293.6	284.1	245.3
非流動負債	23.3	26.9	82.2	170.9	159.0	119.4	98.6	106.4	94.9
資本	50.1	98.6	79.6	52.2	71.2	100.2	131.2	158.7	175.1
親会社の所有者に帰属 する持分合計	40.7	84.0	71.2	41.9	52.3	82.4	113.9	146.3	175.0
評価・換算差額等	0.6	0.1	△0.3	-	-	-	-	-	-
非支配持分	8.7	14.3	8.8	10.2	18.9	17.8	17.2	12.3	0.1
親会社所有者帰属持分比率	23.3%	29.4%	20.1%	9.7%	11.7%	17.6%	21.8%	26.6%	34.0%
ネットDEレシオ	0.1倍	△0.3倍	0.6倍	1.1倍	0.7倍	0.2倍	△0.1倍	0.0倍	△0.1倍

連結P/L、連結C/F

(億円、円)	日本基準	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS	IFRS	IFRS	IFRS	IFRS
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
連結P/L									
売上高	605.9	791.9	1036.0	1033.0	1,219.1	1,182.4	1,310.8	1,439.3	1,382.2
売上高成長率	34.6%	30.7%	30.8%	30.3%	18.0%	△3.0%	10.9%	9.8%	△4.0%
売上総利益	117.7	160.5	203.3	203.0	254.0	240.5	287.6	317.3	304.4
売上総利益率	19.4%	20.3%	19.6%	19.7%	20.8%	20.3%	21.9%	22.1%	22.0%
EBITDA	23.7	30.4	36.6	45.7	61.3	62.5	75.5	74.5	68.1
EBITDAマージン	3.9%	3.8%	3.5%	4.4%	5.0%	5.3%	5.8%	5.2%	4.9%
営業利益	19.6	24.2	25.4	29.5	41.4	40.3	54.7	53.1	45.2
営業利益率	3.2%	3.1%	2.5%	2.9%	3.4%	3.4%	4.2%	3.7%	3.3%
親会社の所有者帰属する当期利益	10.1	12.2	12.3	15.3	23.8	23.6	32.8	32.3	27.7
1株当たり当期利益	54.23	58.04	55.58	69.46	107.07	106.35	147.03	143.20	122.37
ROIC (当社が認識しているWACC)	18.1% → (10%程度)	13.0%	8.2% → (8%程度)	8.2%	13.9%	13.8% → (11%程度)	17.9%	16.6% → (9%程度)	13.4%
ROE	26.5%	19.9%	16.3%	27.4%	50.5%	35.1%	33.5%	24.9%	17.3%
連結C/F									
営業C/F	0.3	35.0	20.7	28.0	49.0	43.1	43.5	48.1	38.2
投資C/F	△15.7	△20.9	△57.1	△56.3	△30.3	△4.3	△3.0	△17.6	△5.7
財務C/F	24.4	39.7	13.7	5.6	△26.3	△26.4	△29.5	△27.8	△62.3
フリーC/F	△15.3	14.0	△36.3	△28.3	18.7	38.8	40.4	30.5	32.5